事務所沿革 事務所沿革



昭和12年5月	内務省名古屋土木出張所「土岐川砂防工場」が多治見町に、「中津川砂防工場
四和12年3万	が中津町にそれぞれ開設され、土岐川流域および中津川流域の砂防工事が直
	営工事により着手される。
昭和21年4月	「土岐川砂防工場」が「多治見砂防工事事務所」となり「中津川砂防工場」が管下
-114211173	に入る。
昭和23年5月	
〃 9月	 「多治見砂防工事事務所」が、建設省中部地方建設局「多治見工事事務所」と改
	称される。
昭和24年1月	事務所の庁舎新築工事が完成する。(木造平屋建瓦ぶき)
昭和25年4月	「中津川砂防工場」が「中津川出張所」と改称される。
昭和26年1月	事務所に課制が設けられ「庶務課」と「工務課」を設置、あわせて「妻木出張所」
	が設置される。
昭和31年5月	「瑞浪出張所」が設置され、国道19号の改築工事が直営工事により着手される。
昭和33年3月	事務所が多治見市坂上町に移転する。
// 4月	「土岐出張所」「落合出張所」が設置され、事務所管内の国道19号の本格的改築
	が始められる。
	国道21号の改築工事が直営工事により着手される。
昭和37年1月	「瑞浪出張所」が「武並出張所」と改称される。
// 4月	「用地課」が設置される。事務所に「多治見高速道路調査事務所」が併設される。
昭和38年4月	「用地課」が廃止される。
	「武並出張所」が廃止され、「瑞浪国道維持出張所」が設置される。
昭和39年4月	「砂防課」が設置される。
昭和41年11月	「多治見高速道路調査事務所」が廃止される。
昭和42年6月	「落合出張所」が廃止され、「用地課」が設置される。
昭和46年4月	「土岐出張所」が廃止され、「恵那出張所」が設置される。
昭和47年5月	「副所長(技術)」が設置される。
	事務所の庁舎新築工事が完成する。
昭和48年4月 昭和49年4月	「恵那出張所」が廃止され、「土岐出張所」が設置される。
昭和51年5月	「副重統」が放置される。 「副所長(事務)」が設置される。
昭和52年4月	「町が良(争称)」が窓屋される。 「砂防課」が廃止され、「工務第一課」と「砂防調査課」が設置される。
門相りと十十万	「工務課」が「工務第二課」に、「調査課」が「調査設計課」にそれぞれ改称される。
昭和53年4月	木曽南部の砂防事業が直轄として着手される。
昭和56年4月	「庶務課」が分れ、「庶務課」と新たに「経理課」が設置される。
14455 1 173	「上松出張所」が新設される。
昭和57年3月	「妻木出張所」が土岐市妻木町万場(現在地)に移転する。
// 4月	 「工務第二課」が分れ、「工務第二課」と新たに「道路管理課」が設置される。
昭和58年4月	「土岐出張所」が土岐市泉大島町に移転する。
昭和59年10月	「上松出張所」が木曽郡上松町栄町に移転する。
昭和60年4月	「庶務課」が「総務課」に改称される。
平成4年4月	「中津川出張所」が中津川市かやの木に新築される。
平成8年5月	「用地課」が廃止され、「用地第一課」と「用地第二課」が設置される。
平成9年4月	「副所長(技術)」が設置される。
平成13年1月	国土交通省中部地方整備局多治見工事事務所に改称される。
平成15年4年	国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所に改称される。
平成17年3月	長野県山口村が岐阜県中津川市と合併したことにより、L=8.996kmが飯田国道
	事務所から多治見砂防国道事務所の管理となる。
平成22年1月	事務所が多治見市小田町(現在地)に移転する。
平成25年3月	「土岐出張所」が廃止される。
平成29年4月	「調査設計課」が「計画課」に改称される。



中津川砂防工場(昭和14年)



土岐川砂防工場(昭和14年)



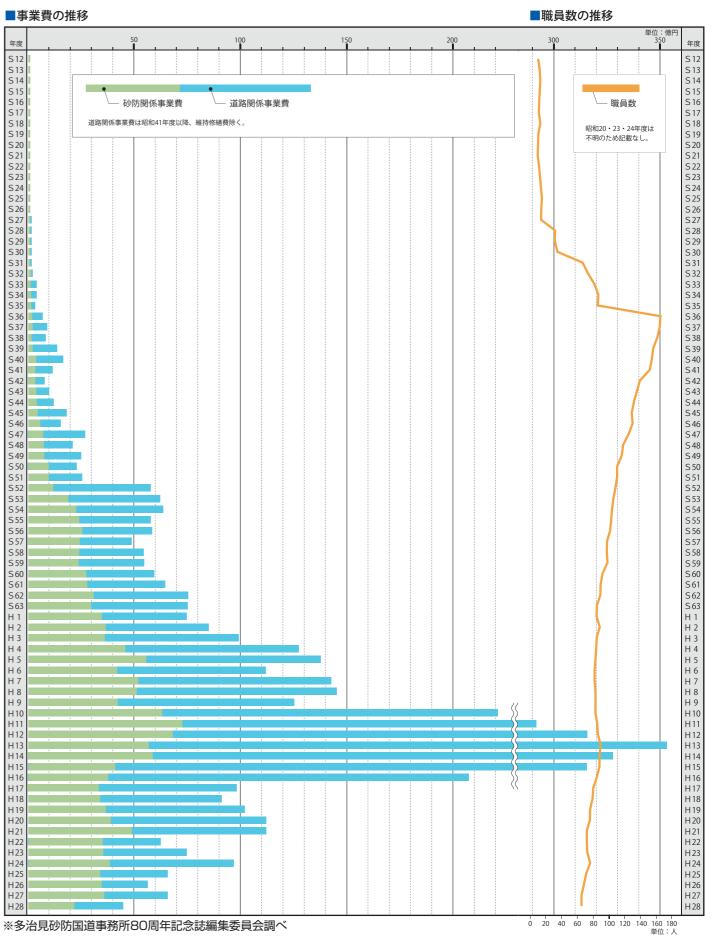
多治見工事事務所(昭和26年)



国道19号の改築工事に着手(昭和31年)



現在の庁舎(平成22年)



※多治見砂防国道事務所80周年記念誌編集委員会調べ

48

事務所・出張所一覧



〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6 TEL.0572-25-8020(代)





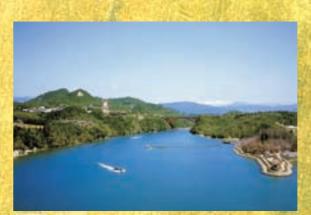






赤沢渓谷 (上松町)





恵那峡 (恵那市)



阿寺渓谷(大桑村)



馬籠宿(中津川市

多治見砂防国道事務所 80 周年記念誌編集委員会

委員長 綱川 浩章
副委員長 遠山 善紀 松山 直人 後藤 明
委 員 伊藤 正人 前田 慶子 風岡 清
猪原 壯 市川 東大 島崎 玲一岩田 成人 柴田 康晴 有澤 俊治
山田 俊男 三輪 勝弘 北村 篤泰
澤田 宗也 安井江吏子 柴山加奈子

